



平成26年10月7日

各位

上場会社名 東宝株式会社
 代表者 取締役社長 島谷 能成
 (コード番号 9602)
 問合せ先責任者 常務取締役経理財務担当 浦井 敏之
 (TEL 03-3591-1221)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成26年4月14日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成27年2月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成26年3月1日～平成26年8月31日)

	営業収入	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	99,500	13,500	14,300	9,100	49.21
今回修正予想(B)	108,150	18,750	19,690	13,900	75.17
増減額(B-A)	8,650	5,250	5,390	4,800	
増減率(%)	8.7	38.9	37.7	52.7	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成26年2月期第2四半期)	98,834	14,830	15,822	9,004	48.63

平成27年2月期通期連結業績予想数値の修正(平成26年3月1日～平成27年2月28日)

	営業収入	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	187,000	23,500	25,000	15,700	84.90
今回修正予想(B)	197,000	28,600	30,300	19,800	107.07
増減額(B-A)	10,000	5,100	5,300	4,100	
増減率(%)	5.3	21.7	21.2	26.1	
(ご参考)前期実績 (平成26年2月期)	197,624	28,439	30,321	17,697	95.46

修正の理由

主力の映画事業において「テルマエ・ロマエII」に引き続き、夏休み映画ナンバー1の大ヒットとなった「STAND BY ME ドラえもん」、さらに「思い出のマーニー」「GODZILLA」等が好成績を挙げたこと、映画興行事業では新館のオープンや、当社配給作品の好調な稼働に加え、「アナと雪の女王」の記録的大ヒットにより業績が向上したこと、演劇事業において帝国劇場で世界初演のミュージカル「レディ・ベス」が盛況となったこと、また不動産事業においては不動産賃貸事業が堅調に推移したこと、道路事業の業績が向上したことなどから、営業利益、経常利益、当期純利益が予想を大幅に上回る見込みとなりました。

以上により、平成27年2月期第2四半期連結累計期間並びに平成27年2月期通期の連結業績予想を修正いたします。

(注)上記業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであって様々な不確定要素が内在しており、その実現を確約するものではありません。実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性がありますので、ご承知おきください。

以上